真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

事務事業名	広域的公共交通ネットワーク構築事業		担当課・係	総合政策部　総合政策課　交通政策係
政策名　No	4	「都市づくり」～暮らしやすさアップ！～	関連するSDGs･DX	DX
施策名　No	4	公共交通ネットワークの整備		

	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
成果指標	交通網に満足している市民の割合	%	31.4					20.1

事業内容

令和３年３月に策定された真岡市地域公共交通計画に基づき、高齢者の増加などの社会情勢の変化やまちづくりに対応した広域的ネットワークの構築を行うため、芳賀・宇都宮間で整備されたＬＲＴにおける清原トランジットセンターへのバス路線接続等について、既存バス路線の再編を含め、バス事業者や関係機関と連携して検討を行う。
真岡鐵道や民間バス路線を維持し、地域公共交通との連携強化を図る。

前年度の課題（Check）

清原トランジットセンターへの接続バス路線を新設しても、十分な利用者を確保できなければ、費用に見合った効率的な運行を見込めないことから、利用者の需要を見極め、運行の可否を決定する必要がある。

７年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
市内と清原トランジットセンターをつなぐバス路線の新設を想定して行った需要調査の結果を受け、地域公共交通活性化協議会において協議を行った。

【２】結果と課題（Check）
需要調査の結果、バス路線を新設しても、通勤・通学といった継続的な高頻度の利用があまり見込めないことから、十分な利用者を確保できず、費用に見合った効率的な運行を期待できない。
また、運転手不足が叫ばれる現状、路線を新設することは、現行の民間バス路線の減便等につながり、市民の利便性低下を招きかねないことから、既存路線の維持に注力する必要がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　■ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　■ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
清原トランジットセンターへの接続バス路線の検討は終了する。
既存の広域的公共交通である真岡鐵道、民間路線バスについて、地域公共交通との接続状況を確認し、乗り継ぎに要する待ち時間の短縮を図る。

(2) 長期的な計画で検討すること
栃木県や周辺市町と情報共有し、広域的な移動について共通課題を洗い出す。